

# 平成21年第7回周南市議会定例会一般質問通告一覧表

(平成21年9月10日～15日)

## 1 得重謙二(刷新クラブ)

### 1 低炭素社会への取り組みについて

- (1) 環境に対する市の基本方針は。
  - ア 太陽光発電の推進について
    - (ア) 公共施設等における導入方針は。
    - (イ) 市独自の補助金制度の考えはいかがか。
  - イ エコカー普及の促進について
    - (ア) 公共施設等における導入方針は。
    - (イ) 市独自の補助金制度の考えはいかがか。
  - ウ 緑のカーテン、緑のじゅうたんの普及状況と今後の課題は。

### 2 徳山みなとHANABIについて

- (1) 現時点での進捗状況について
  - ア チケットの販売状況は。
  - イ 寄附金の受付状況は。

## 2 坂本心次(顕政会)

### 1 ぬくもりのある地域の花とみどりと動物園

- (1) 昨年10月に花いっぱい運動キックオフ宣言が行われ、今年度から公園花とみどり課が設置されたが、今後の展開を問う。
  - ア 市としての今後の方向性は。
  - イ 具体的な取り組みは。
    - (ア) 育苗
    - (イ) 土づくり
    - (ウ) 各部署の連携
- (2) 動物園開園50周年を迎えるに当たって、リニューアルについて聞く。
- (3) 動物園を初めとした家畜のふん尿等を活用した土づくりへの取り組みなど、本市の「環境立市」と「観光立市」とを融合させた施策の展開が可能と考えるが、いかがか。

## 3 米沢痴達(顕政会)

### 1 7.21豪雨災害について

- (1) 本市における土砂災害防止法による警戒区域について
  - ア 警戒区域は何カ所か。また、未調査地域は。
  - イ 特別警戒区域において、砂防工事等ハード面において、特に急を要する地域は。また、今後の取り組みは。
  - ウ 避難計画やハザードマップ作成の進捗は。また、市民への周知は。
  - エ 警戒区域に要援護施設はあるのか。また、施設における防災対処計画書の策定は。
- (2) 本市の防災計画について
  - ア 自主防災組織の機能はどうだったか。また、行政との連携は。

イ 防府市の大規模災害を教訓とし、本市の防災計画の課題は。

(3) 学校教育における防災についての取り組みは。

## 2 自殺対策について

(1) 本市の自殺者数の現状と自殺予防対策及び自殺遺族ケアの取り組みは。

(2) 学校教育における命の教育の取り組みと自殺遺児のケアについて

## 3 栄谷トンネルについて

(1) マニフェストに掲げた第2栄谷トンネル計画推進の進捗状況と今後の展望は。

# 4 西林幸博（刷新クラブ）

## 1 治水、治山対策

(1) 7月21日の週による集中豪雨被害は、河川、水田等11億円強に上っている。特に河川被害は集中豪雨の都度発生し、毎回多量の土砂が河床に堆積している。今回の7月河川被害において、河川への流出土砂量はいくらか。

(2) 河床が高くなることにより、さらに災害が増加する。流出した土砂はその都度撤去しなければいけないが、過去の河川土砂撤去予算推移はどのようになっているか。

(3) ゲリラ豪雨対策も含め、今後の河川改修（土砂撤去）計画を聞く。

(4) 市有林伐採事業を展開しているが、保水能力が減少し、さらに針葉樹から広葉樹の植栽など治山計画を基本から見直す時期にある。保水力の高い森林の緑のダムづくりについて見解を聞く。

## 2 斎場等計画

(1) 旧下松清掃工場の解体や御屋敷山斎場のリニューアル等、関係自治体と計画調整する時期に来ているが、本市の取り組みは。

(2) 御屋敷山斎場、新南陽斎場、鹿野斎場の将来像をどのように描いているか。

# 5 岩田淳司（参輝会）

## 1 このたびの大雨災害における反省点

(1) 災害の多い地域支所へは職員を迅速に移動させ、適時対応できる仕組みづくりを。また、災害時には臨時的にでも支所の権限強化をすべきとも思うがどうか。

(2) 災害時は地域住民の一致団結の力が不可欠。そのためにも防災組織の充実が必要であり、今こそ市からのトップダウンと住民からのボトムアップが融合できる時期と思われるが、市の方向性・計画はどのようなものか。

## 2 周南市の障害児タイムケア事業について

(1) 障害児タイムケア事業の今後の展望はどのように考えているか。

ア 今後の利用者の予測はどうか。

イ 受け入れ施設の整備状況はどうか。

ウ 療育等への取り組みについてはどうか。

## 3 市内保育園の経営形態について

(1) 県内他市においては、山間部離島等を抱える市以外は公立に比べ私立が多いようだが、この点について、周南市としての展望・方向性はあるのか。

# 6 田中和末（刷新クラブ）

## 1 緑の基本計画について

- (1) 貴重な樹木・樹林の保全、公園等の緑化に向けて、専門的知識を持つ人材の育成、アドバイザーの育成を。
- (2) 公園に健康維持のための遊具（鉄棒等）の設置を。

## 2 地域参画型公民館管理運営事業について

- (1) 地域の特性を生かした公民館運営を行うため、地区生涯学習推進団体が設置され10年が経過する。これまでの総括と今後の事業展開は。
- (2) 今後の施設整備計画は。
- (3) 必要な備品の配備はなされているか。

## 3 市営住宅について

- (1) 失業や所得の激変による滞納者の増加が懸念されている。滞納者及び保証人への早期通知と相談体制の強化を。
- (2) 10年経過後の連帯保証人の告知権の創設を。

## 4 市有財産の管理について

- (1) 市所有の空き地等の草刈り、清掃、管理について、関係自治会に委託を。

# 7 土屋晴巳（新政会）

## 1 災害時の指定避難場所について

- (1) 補助避難場所（一時的）としての介護施設への協力要請について

## 2 周南市バイオマスタウン構想の促進について

- (1) 本市はバイオマスタウンに認定された。生ごみを資源とした循環型社会を形成し、目標利活用率達成のための今後の取り組みについて
  - ア 本県独自のFood & Greenリサイクル（FGR）プロジェクトとの関連について
  - イ 処理業者の育成について
  - ウ 公共施設を初めとする病院、スーパー等生ごみ大量排出事業所の積極的な参加について
  - エ できた堆肥等の利用について
- (2) バイオマスタウン構想に掲げる3つの目標達成に向けた当面の具体的施策と目標値について

## 3 今後の西部「道の駅」推進について

- (1) 整備に向けた基本方針と目的について
- (2) 西部「道の駅」基本計画策定期間とプロセスについて
- (3) 管理運営体制について

# 8 徳原尚一（参輝会）

## 1 菊川地区の学校施設の建設について

- (1) 菊川中学校の体育館の建設計画はどのようになっているか。
- (2) 菊川地区に建設予定である給食センター計画を問う。

## 2 文化会館の女性用トイレについて

- (1) 利用者に対して不足しているのではないか。

## 3 中国・九州北部豪雨について

- (1) 中国・九州北部豪雨から、今後の課題を問う。
  - ア 災害に対応する職員の人数は適切であったか。今後これ以上大きな災害に直面した場合、職員配置や危機管理をどのように考えるか。

イ 土のうステーションが必要ではなかったか。

## 9 長嶺敏昭（参輝会）

### 1 政府高速道路政策を見据えた周南市観光立市への着眼点

- (1) 地方都市経済に与える影響への見解は。
- (2) 観光地やイベントへのマイカーでの集客に既に異変が起きているのではないか。
- (3) 周南市には高速道路2路線と4つのインターチェンジがあるが、行楽客の誘導に、沿線に観光案内看板（定期的に更新可能な）を設置してはどうか。
- (4) インターネット上にマイカー観光客向けのメッセージや他県のマスコミへのコマーシャルの配信を。
- (5) サービスエリアでの観光宣伝活動が有効になりはしないか。

### 2 緊急雇用予算のトレッキングコース整備

- (1) 登山愛好家が増加しているようだが、登山道・縦走路整備の次の一手は。
  - ア ほうっておけば、またやぶになる。
  - イ 登山愛好家との協議会や連携は。

### 3 鹿野地区の障害者福祉

- (1) 鹿野地区での障害を持つ児童生徒の将来の社会参加への道を開いてほしい。
  - ア 授産施設への通所交通費の助成への考えはないか。保護者負担の軽減を。
  - イ 既存の鹿野高齢者生産活動センターに障害者福祉作業所の併設はできないか。

### 4 限界集落支援

- (1) 地域文化存続のため懸命な努力を続けておられる地域に、直接補助または草刈り作業発注などの温かい支援を。
  - ア 県指定文化財（氷見神社社叢）を有する高齢化した数戸の秘密尾地区集落支援は、波及効果もあると思うが。
- (2) 市域全体の生活実態調査し、特に地域からの要望がなくても「故郷」を意識できる政策的支援が限界集落を救う道ではないか。

## 10 反田和夫（公明党）

### 1 農業政策について

- (1) 農業人口の増加対策、遊休農地の再生と自給率向上について問う。
  - ア 農地の荒廃が目立つ。優良農地対策の推進を。
  - イ 過疎集落の支援と同時に若者たちに夢と希望を与える支援策として、集落支援制度の導入は考えられないか。
  - ウ 本年6月に農地法が改正されたが、周南市として農業再生の基盤整備はどう取り組むのか。

### 2 災害対策について

- (1) 7月の豪雨被害で、避難勧告のタイミングや避難指示のあり方に問題はなかったか。
  - ア 避難情報を携帯メールで通知するシステムの導入はできないか。
  - イ 洪水ハザードマップの作成と公表はできているか。
  - ウ 災害時に妊産婦や乳幼児のいる要援護者を、ホテルや旅館を避難所として受け入れる協定はできないか。

### 3 有害鳥獣被害対策について

- (1) 現在の鳥獣被害の状況について
- (2) 鳥獣被害防止特別措置法の取り組みはどのようになされているのか。

## 1 1 清水芳将（新政会）

### 1 徳山駅周辺整備事業について

- (1) パブリック・コメントの意見集約の状況は。
- (2) パブリック・コメントの3項目に係る今後のタイムスケジュールは。
- (3) 新駅ビルや駅西駐車場計画に関する方向性は。
- (4) 商業開発ゾーンとしての駅東地域に対する方向性は。

## 1 2 小林雄二（刷新クラブ）

### 1 中国・九州北部豪雨災害に関連した周南市の災害対策について

- (1) 今回の迅速な災害対策本部の設置・対応について評価されるものであると思うが、防災の視点をより強化、拡充する意味において課題は何か。
- (2) 周南市は広く、地域の状況把握には総合支所、支所単位での防災本部組織が重要ではないか。

### 2 全国学力学習状況調査について

- (1) 今回で初の国公立全校実施となったようであるが、この調査の目的とするものは何と認識するか。
- (2) 結果は周南市の教育方針にも影響すると思うが、周南市において望まれ、実施されなくてはならないものは何か。

### 3 期日前投票での衆議選と国民審査の日程ギャップについて

- (1) 過去においても問題提起されているが、期日前投票は今回の場合8月19日から可能であるが、最高裁国民審査は8月23日からの受け付けとなっており、主権者に対する権利行使への日程妨害ではないのか。周南市選挙管理委員会の見解を問う。

### 4 防犯灯及び街路灯の設置基準について

- (1) 防犯灯や街路灯の設置基準は。
- (2) 道路改修や街並みの変化（市街化）とともに設置場所の変更や追加は可能となるのか。
- (3) 地域の設置要望にどの程度対応できるか。

## 1 3 吉平龍司（公明党）

### 1 行財政の運営と改革

- (1) 監査制度の精度・機能強化への改革時期ではないか。市長の見解を問う。
- (2) 市有財産の余裕スペースの貸し付けによる有効活用計画指針は。

### 2 高齢者・介護家族の方々からの相談体制

- (1) 地域包括支援センターにおける相談内容の実状
- (2) 24時間365日対応の電話相談体制整備はできているか。
- (3) 今年度開始された高額医療・高額介護合算療養費制度の周知・相談対応はどうなっているか。

### 3 高齢者・障害者等への円滑な地上デジタル放送移行策

- (1) 福祉施設の地デジ受信環境の状況は。
- (2) 本市としてのきめ細かい受信説明会の開催での移行の働きかけや相談サポート体制の充実に向けた取り組みはどうか。

#### 4 子育て支援施策

- (1) 任意の予防接種の「ヒブワクチン接種」啓発・普及と一部公費助成の促進について

### 1 4 森重幸子（公明党）

#### 1 女性特有のがん検診

- (1) 検診受診率（目標50%）向上への取り組み
  - ア 重要性についての周知徹底策を問う。
  - イ 受診対象者への利便性の向上について
    - ア 検診に関する情報提供
    - イ 女性医師での対応
    - ウ 早朝・夜間・休日の対応
    - エ 他市での利用

#### 2 交通弱者対策

- (1) 和田地区の交通弱者対策の取り組みについて

#### 3 自然災害への対応・対策

- (1) 豪雨対策
  - ア 夜市川拡幅計画の進捗と今後の対応
  - イ 本陣川の河川改修工事について

#### 4 安心安全対策

- (1) 市道市赤迫1号線の長期計画見直しで放置されている一部改修部分の環境整備について

### 1 5 炭村信義（民主の会）

#### 1 本陣川のはんらん対策について

- (1) 7月21日の集中豪雨による河川のはんらんが市内各所であった。そのうちの本陣川の原因と緊急対策の方針について問う。
  - ア 原因は何と考えているか。
  - イ 河川管理に問題はなかったのか。
  - ウ 福川ポンプ場及び新地ポンプ場の管理は。
  - エ 緊急対策の方針は。

### 1 6 小坂玲子

#### 1 まど・みちおさんの記念事業に際し、全国に向けて詩の募集はできないか

- (1) これを機会に詩の楽しさ、すばらしさを広く発信できないか。
- (2) 今年度のみ単年事業で終わらず、詩の募集を毎年行えないか。

#### 2 学校給食について

- (1) 本市の子供たちへの食育の理念から、健康増進を図り、新センターの整備にあわせ、その独自性を出すためにも、現在見直されている玄米食の導入は検討できないか。

#### 3 市が窓口となり、増大する団塊世代による支援サークルはつukれないか

- (1) 熟年者の知恵や経験を市を挙げて掘り起こし、活用することはできないか。

### 1 7 長谷川和美（至誠会）

#### 1 7月豪雨災害の課題と対策は

(1) 情報は十分伝達されたのか。

ア 連絡方法は。(公民館・支所等や地域)

イ 各関係部署の連携は。

ウ 被災者への各種制度は。

(2) 今後の被害防止対策は。

ア 県の地すべり対策事業への対応

イ 徳山駅周辺・夜市・久米・大島地区の浸水対策と公共下水道計画のない地域をゼロにする方向性は。

ウ 花陽1丁目や桜南団地等、各地の土砂崩れへの対応は。

エ 緊急時の応急処置の考え方は。

## 2 学校図書館の早期充実を

(1) 司書職の専門性への具体策は。

ア 名称の変更

イ 業務の専門化と待遇改善

ウ 市内全小中学校の学校図書館充実に向けた整備計画は。

## 18 青木義雄（参輝会）

### 1 マニフェスト検証2

(1) 衆議院選挙でマニフェストの関心度・理解度は高まった。2年前のマニフェスト選挙で誕生した島津市政も、任期4年の折り返しとなる中間地点のこの時期にマニフェストの検証がされなくてはならない。

ア 大型商業施設断念はマニフェストの定義(数値・期限・財源・工程表)の観点からの説明が必要ではないか。

イ その他のマニフェスト達成度・進捗度を問う。

ウ 今後のマニフェストの進捗について、後期基本計画との関連性・整合性を問う。

エ 進化するマニフェストに対して、より信頼度を高めるためには内部での市長を委員長としたマニフェスト検証委員会と外部有識者と公募で構成するマニフェスト評価委員会の設置を提案する。

### 2 7月中国・九州北部豪雨災害

(1) 桜南団地崩落災害と西光寺川はらん災害の今後の展開と市当局の対応を問う。

(2) 防府市では遺憾にも多数の犠牲を伴う大惨事となった。心からお見舞いし、復興を祈念し、以下を問う。

ア 今回、特別養護老人ホームが土石流により被災したが、周南市には同じような状況の施設はないか。

イ 隣接自治体との連携強化にどのように取り組むのか。

ウ よりプロフェッショナルな防災エキスパートの育成を、官民ともに取り組む必要性があると考えられるかが。

### 3 新型インフルエンザ対応

(1) 新型インフルエンザが猛威を振るい始めて流行期に突入した。今後、さらなる流行が予測される中で、周南市の対応を問う。

ア 妊婦や乳幼児、基礎疾患(糖尿病・腎機能障害など)のある患者が重症化しやすいと言われ

ている。啓発活動の強化の必要性についての見解を問う。

イ 2学期が始まった学校では感染拡大が懸念されるが、現時点での対応はどのようになっているのか。また、保育園が休業の場合は共働きの保護者の影響をどのように考えているか。

ウ 患者が急増した場合の医療体制をどのように考えられているか。

## 19 金井光男（公明党）

### 1 生活排水対策について

(1) 公共下水道について

ア 今後の下水道処理施設の統廃合を含めた整備計画は。

イ 汚水のリサイクルシステムの進捗は。

(2) 浄化槽普及促進について

ア 公共下水道区域の大胆な見直しが必要ではないか。

イ 浄化槽設置促進のための条件整備は。（主には費用面）

### 2 ICT利活用による地域活性化対策について

(1) 地域ICT利活用に対する本市の基本的スタンスは。

(2) 具体的利活用について研究検討すべき時期ではないか。

ア 児童見守りシステム

イ 高齢者見守りシステム

ウ 被災者支援システム

エ 農作物への鳥獣被害対策システム

オ 遠隔医療システム

## 20 古谷幸男（顕政会）

### 1 政権交代について

(1) 今後さまざまな政策転換があると思うが、現時点で地方行政への影響をどのように考えているか、見解を問う。

### 2 福祉行政の取り組みについて

(1) 市民の方々が申請や相談に福祉事務所に来られているが、相談室やカウンターのつい立てもなく、相談者や申請者のプライバシーが確保されていないのが現状ではないか。十分なスペースがない状態は理解しているが、市民が安心して相談できる体制、配置など福祉事務所の全体を工夫し見直し改善すべきと考えるが見解はいかがか。

### 3 学校給食センターについて

(1) 3月定例会の予算審査の結果、附帯決議が可決された。このことをどう受けとめているか見解を問う。

### 4 有害鳥獣被害対策について

(1) 農作物が大変な被害に遭っている。今後も猿やイノシシはふえる可能性は高く、農家への影響は大きな問題である。市として今後の対策は急務と思うが取り組みはどうか。

## 21 藤井直子（日本共産党）

### 1 介護保険について

(1) 新認定制度が10月から見直しされるが、4月以降、新規申請された人には再認定調査を。



## 2 課税業務について

- (1) 市の課税ミスで固定資産税を払い過ぎている市民に対し、全額返還すべきではないか。

## 3 上馬屋・下馬屋地域の安全について

- (1) 馬屋川の改修
- (2) 市道馬屋線のわきのがけの改修
- (3) 土石流の予防対策
- (4) 安全な道路の新設

## 2 2 兼重 元（至誠会）

### 1 株式会社シティーケーブル周南と周南市のかかわり

- (1) 6月議会の株式会社シティーケーブル周南の経営について、市長が検証済みの事実の存在を公言された。その事実について、市長としてのアカウンタビリティーを求める。

### 2 C A T V業界のこれからの方向と経営のあり方

- (1) 自治体との連携をどう進めるのか。
- (2) 地上デジタル化のデータ放送がテーマとする地域密着型の情報提供との競合はどうか。
- (3) F T T H化の必要性はどうか。
- (4) 周南地域にとどまらず、県内の情報を同じラインで発信することはどうか。

## 2 3 高松勇雄（民主の会）

### 1 徳山駅周辺整備事業について

- (1) パブリック・コメントで寄せられた意見の内容はどうか。それらの意見をどのように整備計画に反映させるのか。
- (2) この素案で120～130億円の事業費見込みがされているが、積算根拠と費用対効果は。
- (3) 新駅ビルについては、市民館・保健センター・女性・子どもセンター・青年館・レストラン・喫茶店等々の機能を入れ、景観優先と言われている3階建てにこだわらず、恒常的に利用者が集まるものにできないか。

### 2 入札制度について

- (1) 現在の本市の入札制度の概要は、他の自治体と比べどうか。
- (2) 災害・緊急対応やその後の復旧・復興時等の入札には、待機・緊急対応業者や地元業者の優先契約等、随意契約と指名競争入札のバランスがとれないか。

### 3 伝統芸能・郷土芸能等の継承について

- (1) 本市の伝統文化、伝承芸能と言われるものの地域とその数及び現状は。
- (2) 地元学童・生徒の伝承芸能の教材使用や参加協力等の学校・P T Aと地域の連携はできているか。
- (3) 地域の一員としての本市職員の積極的な参画はなされているか。

### 4 少子化対策について

- (1) 少子化対策の施策と効果現状はどうか。
- (2) 少子化対策の経済支援、青少年の健全育成の観点から、所得のない子供たちが構成するスポーツ少年団・クラブ活動・地域子供会等青少年利用について全額免除にならないか。

## 2 4 形岡 瑛（日本共産党）

## 1 限界集落に対する支援の具体的提案（その1）

(1) 「限界集落」の実態把握を。

ア 「小規模高齢化集落」として把握されているが、提唱者の定義に従い「65才以上が過半数を超える中山間地の集落」としての把握をすべき。

イ 同時に「55才以上が過半数を超える」「準限界集落」の把握をすべき。

ウ 「消滅集落」を明確に把握すべき。

(2) 支援策として以下のことを求める。

ア 道路整備

イ 農道、地域生活道路、法定外公共物の整備は市が全面的に。

ウ 沿道の枯れ松など調査・伐採

エ 猿、イノシシ、クマの被害対策を。（別項で具体策の提案）

## 2 猿、イノシシ、クマの被害対策について

(1) 駆除活動について

ア 駆除隊の編成を機動的なものに改善すべきでは。

イ 捕獲の方法の研究と普及を。

ウ 休猟区での駆除はどう対応するのか。

(2) 寄せつけない方策を。

ア モンキードッグの採用

イ 必要な環境整備対策を。

(ア) 農地や集落周辺の里山イコール雑木林を整備し、いわば緩衝帯をつくること。

(イ) この里山を活用しての振興策を。

ウ ブナ、クヌギ、ナラなどの落葉広葉樹林をふやし、猿、イノシシ、クマなどの居場所をつくること。

(3) クマ、猿、イノシシの生息状況の実態調査を。

## 3 緊急雇用対策について

(1) 現在まで順調に機能しているか。

(2) 恒常的な業務でなく、これを活用して、将来的な発展につながる新たな事業も検討すべきでは。

## 2 5 中村富美子（日本共産党）

### 1 経済対策について

(1) 国の緊急経済対策について、その影響と効果はどうか。

(2) 中小業者の仕事の確保につなげるための住宅リフォーム助成制度の創設はできないか。

### 2 新南陽中開作地域の雨水対策について

(1) 7月21日の豪雨は市民に不安をもたらしたが。

ア この地域の整備は、新地雨水ポンプ場整備の後と考えていいのか。

イ 都市計画道路中開作線の整備とあわせてと言うが、問題点はないか。

ウ 古川の拡幅はどうなるのか。

エ 福川南地区まちづくり協議会と協議が進められているというのが具体的には。

### 3 災害見舞金支給について

(1) 床上浸水も支給の対象にしては。